

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成27年度第2回北はりま定住自立圏共生ビジョン会議
開催日時	平成27年11月12日（木） 午後3時00分～午後4時30分
開催場所	西脇市コミュニティセンター西脇区会館
出席委員の氏名又は人数	13名
欠席委員の氏名又は人数	4名
出席職員の職・氏名又は人数	オブザーバー7名、事務局4名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	1名
議題又は協議事項	1 第2次北はりま定住自立圏共生ビジョン（素案）について 2 第2次北はりま定住自立圏共生ビジョン（案）パブリック・コメントの実施について 3 意見交換
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会） （事務連絡）</p> <p>（新委員の紹介） （以後の進行を浅野会長に依頼）</p> <p>第2次北はりま定住自立圏共生ビジョン（素案）について 会議資料に基づき、事務局から説明</p> <p>広域斎場の駐車場の場所はどこを予定しているのか。</p>
事務局	
事務局	
事務局	
委員	

市担当	第2駐車場の西側、倉庫の近くを整地し、20台程度の駐車場を増設する予定である。
委員	先日のテレビ番組で多可町長が出演されており、水道事業の連携について、同規模の自治体と協議会を立ち上げておられるとのことだった。その協議会の概要をお聞きしたい。
多可町長	<p>人口減少により、水道料金を値上げせざるを得ない状況になる。それを避けるため、水道事業の広域化を検討している。特に技術職の共有はすぐにでも取り組めると考えている。広域化を念頭に置き、いくつかの方法を国や県に提示し、理解と支援を求めていく。そのような内容の提言書をまとめる協議会である。</p> <p>水道事業はユニバーサルサービスであり、どこに住んでいても同じサービスが同じ料金で受けられるべきだと考えている。</p>
会長	事業費が空欄になっているものがあるのはなぜか。
事務局	事業を検討し、実施できる年度から事業費が計上されることになるため、現在は空欄としている。
委員	「コミュニティバス運行事業」について、事業費が増額となっているが、増便を考えておられるのか。
市担当	住民主体運行となっている「つくしバス」をコミュニティバス化することによる増便を検討している。
会長	今回の共生ビジョンでは、北播磨広域定住自立圏に移行して実施する事業が削除されている。どのような事業が削除されているという線引きはあるのか。
事務局	特に明確な線引きはない。広域で実施することによるメリットが見込まれる事業については、北播磨広域定住自立圏に移行し、第2次北はりま定住自立圏共生ビジョン（素案）からは削除している。

委員	<p>「学校給食地産地消推進事業」について、地元食材の「きくいも」や「金ゴマ」などを使用することで、子どもたちに地元食材を知ってもらうことができればよいと思う。そのような取組について、何か具体的に考えておられることがあれば教えてほしい。</p>
事務局	<p>「きくいも」を使ったメニューについては、今月中に提供する予定である。西脇市・多可町ともに、地元食材の利用を推進しているが、生産者の高齢化等により量の確保が難しくなっている。</p>
委員	<p>「JR鍛冶屋線跡地道路整備促進事業」の内容を教えてください。</p>
市担当	<p>第1次共生ビジョンでは「一般県道中安田市原線バイパス整備促進事業」として掲載していたが、昨年度に市道として認定されたことにより、市単独の事業で実施することとなった。今年度から設計を進めており、平成32年頃の完成を目標にしている。第2次ビジョンでは、アピカから南の西脇明石線の整備を進めていきたい。</p>
委員	<p>「消防・防災危機管理体制の整備検討」について、定住自立圏の事業となった場合、現状とどのように変わるのか。</p>
市担当	<p>消防無線のデジタル化による無線整備を検討している。また、消防団のサイレン吹鳴についても、デジタル化に向けて整備を行っている。</p>
委員	<p>消防無線のデジタル化によって、コストの問題が発生し消防団員全員に無線機が配布できなくなる。今までの無線機に代わる災害時の情報伝達方法は検討されているのか。</p>
市担当	<p>防災ネットによるメール配信を行っている。現在は災害発生から数分後のメール配信となっているが、消防無線のデジタル化とともに、災害発生と同時にできるだけ早くメール配信ができるように整備を行っているところである。</p>

委員	<p>「農産物直売所運営事業」及び「担い手育成事業」について、平成 27 年度の農産物直売所の売上は、1.5 億円程度となり、前年度比で 20%アップとなる予定である。しかし、出荷者協議会の正会員（西脇市・多可町）による出荷量は全体の 6 割程度であり、圏域外の出荷者に大きく依存している状況である。生産者の育成や底上げを図るためにどのような取組を検討しているのか。</p>
市担当	<p>農業インターンシップやスイーツファクトリー支援事業など、様々な取組を行っている。また、青年就農給付金等の国の制度も活用しながら、担い手育成に取り組んでいる。</p>
委員	<p>上下水道料金は私たちの生活に密接に関わっているものであり、料金が上がることによって大きな影響が出る。水道事業の広域化も検討されているということだが、水道料金を値上げすることにならないよう、策を練ってほしい。</p> <p>また、学校給食に百日鶏などの地元の食材を使用できるよう連携を図ってほしい。</p>
市担当	<p>西脇市・多可町それぞれの余剰施設の利用、薬品の共同購入、施設のメンテナンスにおける共同発注などを行うことでコストを削減し、料金転嫁を抑えたいと考えている。</p>
市担当	<p>百日鶏については、多可町では学校給食に使用されている。西脇市においても検討したが、価格、量の面で実現できていない。今後は市町間で会議を行い、食材の調達について連携を図っていく予定である。</p>
委員	<p>コミュニティバスの利用者が少ない。また、路線バスの利用については、通勤、通学、買い物、通院が大半であり、大阪、神戸線の利用が減ってきている。定期券の助成やパークアンドライドの支援などにより、公共交通機関を利用するきっかけづくりを進めていただきたい。</p>
市担当	<p>今の子どもたちは、自家用車がある環境の中で育っており、公共交通を利用するという概念がない。バスや電車に乗ることを身近に感じてもらうため、様々な事業の中で公共交通を利用する機会をつくり、啓発を行っていききたいと</p>

<p>委員</p>	<p>考えている。</p> <p>「高齢者等の見守り事業」について、今後も高齢化が進んでいく中で、高齢者のための施設が足りているのかどうかお聞きしたい。また、そのような状況の中で、どのようにこの事業を進めていくのかお聞きしたい。</p> <p>また、「木質バイオマスエネルギー利用促進事業」について、西脇市・多可町は山が多いため、林業施策、エネルギー施策、鳥獣被害対策を組み合わせる方が良いのではないかと考えている。</p>
<p>市担当</p>	<p>高齢者問題については、世間で「2025年問題」と言われているように、西脇市でも支援が必要な高齢者が今後増えていく見込みである。高齢者のための施設の数的問題も勿論であるが、「地域包括ケアシステム」という言葉もあるように、施設や病院だけでなく、地域の様々な社会資源を活用して高齢者を支援する体制をつくる必要があると考えている。</p>
<p>町担当</p>	<p>木質バイオマス供給センターにおいて木質チップを作っている。多可町の温室プール等に供給しているが、稼働率は低い状況である。今年度から加西市のトマト栽培用ハウスや、朝来市の火力発電所にも供給しており、供給量の増加を見込んでいる。</p> <p>また、林業の振興については、木造住宅の需要が少ない時代の中で、木材の価格も下落していることが課題である。</p>
<p>委員</p>	<p>「アンテナショップ運営事業」について、事業の内容を具体的にお聞きしたい。</p>
<p>町担当</p>	<p>県が神戸市内で出店しているアンテナショップの運営に両市町が協力をしている。多可町では、神戸市垂水区でアンテナショップを運営しており、主に八千代区の野菜を販売しているが、出荷者の高齢化が課題となっている。</p>
<p>委員</p>	<p>「ごみ処理事業」について、みどり園は現在の場所に立地してから40年が経過し、さらにあと10年は現在の場所で継続すると聞いている。非常に大きな問題なので、将来</p>

	<p>的なビジョンを教えてください。</p>
市担当	<p>現在のみどり園をあと 10 年は継続したいと考えている。その間、改修等により施設の長寿命化を図りながら、4 市 1 町での広域化についても検討を行っていく。</p>
委員	<p>地域住民の高齢化が進んでおり、災害時に適切な対応ができるかどうか心配である。行政と住民との意識が徐々に離れていっているのではないかと思う。行政の方も地域に入っていただき、一緒に地域を守っていただきたいと思う。また、私たち住民も、自分たちの命は自分たちで守るという意識を持たなければならないと思う。</p>
市担当	<p>自主防災組織の育成に従前から力を入れている。各自治会においても、年に 1 回は訓練をしていただくようお願いしている。</p>
委員	<p>広域斎場の利用料金は、民間の斎場に比べて価格がかなり安くなっている。民間との整合性を保ち、お互いの共存を図る意味で、将来的な料金改定の予定はあるのか。</p>
市担当	<p>消費税の税率が変わる時に合わせて、料金の改定を考えている。民間の斎場と比較したことはなく、あくまで公的な立場で、近隣の公的葬儀場の事例などを参考に料金を決定している。</p>
委員	<p>「文化・スポーツイベント交流事業」について、西脇多可高校新人駅伝競走大会以外に、文化・スポーツイベントの実施を検討されているのか。</p>
市担当	<p>西脇多可高校新人駅伝競走大会は今年度で第 8 回目となるが、両市町の連携、交流が図られており、盛り上がりを見せている事業である。今後も継続して実施していきたいと考えている。その他にも両市町の住民が交流できるイベントを検討したいと考えているが、現状でも両市町で多くの事業を実施している。それらの事業の整理を行いながら、共同実施を検討していく必要がある。</p>
委員	<p>「鳥獣被害防止対策の推進」について、西脇市の市街化</p>

	<p>区域内においても、防護柵がないため、シカの被害が多く出ている。シカは繁殖力が強く、今後も爆発的に増えていくと思われるが、多可町のシカ肉処理加工施設の利用状況を教えていただきたい。</p>
町担当	<p>シカ肉処理加工施設では、捕獲したシカを全て加工できるわけではなく、捕獲してから2時間以内の持込みが条件となっているなどの制約がある。加工施設へのシカの持込み頭数については、昨年度は27頭、今年度は現時点で11頭となっている。また、民間のドッグフード製造施設へもシカを持ち込んでいる。</p>
事務局	<p>第2次北はりま定住自立圏共生ビジョン（案）パブリック・コメントの実施について 会議資料（4頁）に基づき、事務局から説明</p>
会 長	<p>第1次共生ビジョン策定時のパブリック・コメントの提出意見の件数はどのくらいか。</p>
事務局	<p>1人の方から2件の意見提出があった。</p>
会 長	<p>パブリック・コメントの件数を増やすための方法はお考えか。</p>
事務局	<p>周知が1番の方法であると思う。広報やホームページ等を通じて周知を行っていききたい。</p>
事務局	<p>（事務連絡） （今後のスケジュール等について説明）</p>
西脇市長	<p>（閉会あいさつ） 本日は貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。 北はりま消防組合について報告がある。 消防本部は2018年度に旧加東市滝野庁舎から西脇消防署に移転することが決まった。また、多可町内の3か所の消防署と駐在所についても出張所となり、24時間態勢となる。加東市と加西市の理解を得られ、このような充実した新しい組織体制が実現することを報告させていただく。 今後も引き続き御協力をお願いする。</p>

	(閉会)
問合せ先	西脇市都市経営部次世代創生課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014